

濃州北山兄鷹の事やともい何よよねるのみあら不詳又紫
草や〜装束付〜ともいみち装束錦装束ともやとも云と
此の歌をみたりと云詞よる下のもみちれや〜ともい〜念を
〜めりや古語は鈴もち〜ち上毛の上は鈴かく〜〜く小とね
二つ〜とも是也塙本ハ二句を〜かりの鷹とせ〜ちあ〜
本居大平云或書よの〜くち〜を鷹とばあらやと
え〜う何ぞ思ひ〜ひ〜とあ〜見鳥とち鷹近ハあ〜
鷹ば〜とえ附〜や〜と見えれ〜ち〜ハね〜此大平に
説〜う〜い〜あひあはせ〜考〜べき事ともや又或鷹書小
み〜との鷹〜め〜と〜ち〜う〜く〜く〜へ〜る鷹